

# 平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

## I 継続事業

### 3. 国際理解事業

#### ① 国際化講演会

「世界を知る講演会」と題し、国際交流・国際協力の第一線で活躍する日本有数の人材や現地で地道に活躍する方々をお招きし、地域国際化の深化並びに地域活性化のヒントを得るため実施した。

<9月14日(木) 於：滝川市役所>

国連開発計画(UNDP)駐日代表 近藤 哲生氏を講師に迎え、「SDGsを知ろう～住みよい地球を残すため～」と題し、「持続可能な開発目標(SDGs)」を知り、考えてもらうにあたり、来場していた高校生に国の代表になりきってもらいインタビューを行うなど、楽しくわかりやすいご講演を頂いた。

参加人数：61名

<平成30年2月19日(月) 於：滝川市役所>

地方独立行政法人北海道立総合研究機構中央農業試験場 遺伝資源部長 田中 義則氏、ホクレン農業協同組合連合会滝川種苗生産センター センター長 藤井 正樹氏を講師に迎え、「種子法廃止直前講座！」と題し、主要農作物種子法の役割と廃止後の課題、種子の保全とその重要性についてご講演頂いた。

参加人数：15名

#### ② 国際理解茶話会

JICA青年海外協力隊OB・OGや地域在住外国人等から様々な体験談を伺う交流会を企画した。

<7月7日(金) 於：すし処やまもと>

来滝中のスウェーデン王国ヨーテボリ市ヴィトフェルスカ高等学校 教諭 アンドレアス・ビートフト氏を招いて「知っているようで知らないスウェーデン」を実施した。

#### ③ シンガポールスタディツアー

<10月22日(日)～27日(金) 6日間 於：シンガポール共和国>

昨年に引き続き、多民族国家である同国へ高校生を派遣した。滝川高校生徒5名、滝川西高校生徒6名が参加し、多様な民族の居住区や同国経済を支えている外国人労働者の居住区を視察し、多文化共生の現状や、経済発展の軌跡を学んだ。



また引率した滝川市C I R ホン・レジナ氏のご自宅を訪問させて頂き、一般市民の生活習慣や文化を学んだ他、シンガポール国立大学では、現地で日本語を学んでいる学生を対象に、学校紹介や滝川市内菓子店（おかだ菓子舗、花月堂松尾製菓、サルタセカンド、野上菓子舗、ヤマキ製菓）提供による菓子の試食会等を通し交流を深めた。

派遣人数：13名（高校生11名、引率2名）

#### ④ 海外派遣者帰国報告会

<平成30年1月24日（水） 於：ホテルスエヒロ>

第27回ジュニア大使訪問団、第14回滝川西高等学校短期留学生、シンガポールスタディツアー参加者並びに初めての派遣となったスウェーデン王国ヨーテボリ市ヴィトフェルスカ高校への滝川西高校短期留学生による帰国報告会を行った。



米国への派遣者は、それぞれが訪問先での交流から学んだ日本との文化の違いや人との繋がり、現地で披露した「よさこい」の演舞などを行った。シンガポールへの派遣者は、多民族国家である同国で学んだ、多文化、多宗教の現状や、外国人労働者の現状を、参加者自らが感じた事を加えて報告した。スウェーデンへの派遣者は、留学先やホームステイ先で感じた文化や風習の違いを中心に報告した。

参加人数：81名（来場者59名、発表者22名）

#### ⑤ 外国語表示案内板等作成支援

滝川市役所庁舎や市内各所の案内表示等の多言語化を行い、一翼を担った。

#### ⑥ 国際理解教育支援事業

<随時>

地域振興の一環として、マチローカードの配布を行った。

<4月21日（金） 於：滝川市立江陵中学校>

滝川市立江陵中学校の依頼で、滝川市C I R 2名と当協会職員1名が、2年生120名を対象に「国際理解教室」を行った。

<6月12日（月） 於：滝川高校>

滝川高校の依頼で、滝川市C I R 1名による同校生徒対象「料理教室」（1

6名)を支援した。

＜6月21日(水) 於：滝川市役所＞

美唄東中学校の依頼で、滝川市CIR2名と当協会職員1名が1年生20名を対象に「国際理解教室」を行った。

＜7月10日(月) 於：JICA北海道国際センター(札幌)＞

JICA課題別研修「アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興(B)」コース研修員へ当協会理事が講義(政治・行政)を行った。

＜8月14日(月) 於：JICA北海道国際センター(札幌)＞

JICAモザンビーク国別研修「農村技術促進を通じた農村開発セミナー」コース研修員へ当協会理事が講義(政治・行政)を行った。

＜11月6日(月) 於：街なかひろばく・る・る＞

街なかひろばく・る・るの依頼で、滝川市CIR2名による英語のゲーム・絵本読み聞かせ「英語で遊ぼう」を支援した。

＜12月11日(月) 於：滝川高校＞

滝川高校の依頼で、滝川市CIR1名による同校生徒対象「料理教室」(1名)を支援した。

＜平成30年2月5日(月) 於：滝川高校＞

滝川高校の依頼で、滝川市CIR1名による同校生徒対象「料理教室」(9名)を支援した。

#### ⑦ ボランティア日本語教師登録・派遣

日本語に不自由を感じている外国人に、日本語を学びながら習慣・文化等を学ぶ機会を提供した。

#### ⑧ ボランティア通訳登録・派遣

滝川を訪れる外国人の買い物・飲食等を含めた日常生活の支援、各種懇親会等で円滑にコミュニケーションを図るためのボランティア通訳の登録・派遣を行った。

#### ⑨ ホストファミリー登録・斡旋

滝川を訪れる外国人に日本の文化・伝統等を知ってもらうと共に、家庭の雰囲気味わってもらうことを目的として、外国人の受入が可能なホストファミリーの登録・斡旋を行った。

＜7月29日(土) 於：滝川市内外＞

JICA課題別研修「アフリカ地域 小規模農家のためのアグリビジネス振興(B)」コース研修員11名のホームビジットを5家庭に依頼した。

< 8月26日(土) 於：滝川市内外 >

JICAモザンビーク国別研修「農業技術促進を通じた農村開発セミナー」  
コース研修員11名のホームビジットを市内外7家庭に依頼した。

< 11月10日(金)～12日(日) 於：滝川市内外 >

「JENESYS2017(対象国：インドネシア第3陣、テーマ：(文化)  
日本文化交流)」訪日団員13名のホームステイを市内外7家庭に依頼した。

## ⑩ インターンシップ生受入

< 8月16日(水)～9月5日(火) 21日間 於：滝川市役所 >

國學院大學北海道短期大学部総合教養学科1年 六田 優花さんを受け入れた。

< 3月5日(月)～3月23日(金) 19日間 於：滝川市役所 >

國學院大學北海道短期大学部 総合教養学科1年 畑 成美さんを受け入れた。

## II その他事業

### 1. 国際理解事業

#### ① 語学講座(韓国語・英語)

< 4月～3月 於：街なかひろば く・る・る、東地区コミュニティセンター >

【1期=1回50分(Iのみ1回25分)×16回(XIIのみ8回)】

I 韓国語講座1(月曜日) 講師：高野 康夫 氏 受講者数 前期： 8  
名 後期： 6名

II 韓国語講座2(月曜日) 講師：高野 康夫 氏 受講者数 前期： 1  
3名 後期： 12名

III 韓国語講座3(月曜日) 講師：高野 康夫 氏 受講者数 前期： 7  
名 後期： 6名

IV 韓国語講座4(月曜日) 講師：高野 康夫 氏 受講者数 前期： 8  
名 後期： 8名

V キッズイングリッシュ(小学1～2年生)(月曜日)

講師：佐藤 伸子 氏 受講者数 前期： 14名 後期： 12名

VI キッズイングリッシュ(小学3～4年生)(金曜日)

講師：佐藤 伸子 氏 受講者数 前期： 8名 後期： 9名

VII キッズイングリッシュ(小学5～6年生)(火曜日)

講師：田中 冬子 氏 受講者数 前期： 10名 後期： 10名

VIII 英会話講座2 (水曜日)

講師：シェイン ブラウンエル 氏、クリストファー ハマー 氏

受講者数 前期： 8名 後期： 9名

IX 英会話講座3

講師 昼 (火曜日) 前期：エドウィン ユー 氏 後期：ライアン ラ

ブ氏

夜 (水曜日) マリナ ペイト 氏

受講者数 昼 前期： 9名 後期： 9名

夜 前期： 8名 後期： 9名

X 英会話講座4

講師 昼 (木曜日) 前期：エドウィン ユー 氏 後期：ライアン ラ

ブ氏

夜 (月曜日) マーク ショーセツ 氏

受講者数 昼 前期： 6名 後期： 5名

夜 前期： 6名 後期： 5名

XI 英会話講座アドバンス (水曜日)

講師 前期：マイケル コルバート氏 後期：ニコル セージ 氏

受講者数 前期： 9名 後期： 9名

XII 中国語 (火曜日)

講師 前期：ツァオ フイ 氏 後期：ホン レジナ 氏

受講者数 前期： 6名 後期： 4名

前期受講者合計 120名 後期受講者合計 113名 総合計 2

33名

② 国際交流チャット・タイム

当協会会員を対象に、食事をとりながら英語などで自由に会話する時間を設定し、会員の語学力等の向上を図った。

9月21日 (木) 於：おおげつ 参加者：5名

12月14日 (木) 於：滝川市地域ふれあいセンター 参加者：7名

※ポットラックパーティーとして開催

③ 平成29年度「実用英語技能検定」試験実施事業

(公財) 日本英語検定協会が年3回 (各回とも1次試験、2次試験) 実施する「実用英語技能検定試験」を受託し、実施した。

第1回 1次： 6月 4日 (日) 受験者数： 56名

2次： 7月 2日 (日) 受験者数： 132名

	7月 9日 (日)	受験者数 :	21名
第2回	1次 : 10月 8日 (日)	受験者数 :	62名
	2次 : 11月 5日 (日)	受験者数 :	230名
	11月12日 (日)	受験者数 :	32名
第3回	1次 : 1月21日 (日)	受験者数 :	66名
	2次 : 2月18日 (日)	受験者数 :	209名
	2月25日 (日)	受験者数 :	27名
受験者数計 1次 :		184名	2次 : 651名

④ 「JENESYS 2017 (対象国 : インドネシア第3陣、テーマ : (文化) 日本文化交流)」

訪日団受入事業

< 11月9日 (木) ~ 13日 (月) 5日間 於 : 滝川市内外 >

一般財団法人日本国際協力センター (JICE) から協力依頼を受けインドネシア共和国パプア州から高校生13名、引率教諭2名を受け入れた。訪日団は、和紙を使ったかざぐるま制作、滝川西高校での授業参加・組紐の制作などを体験した。



また、11月10日 (金) から2泊3日のホームステイを行い、地域住民と交流し、国際性豊かな市民活動の醸成に寄与した。

受入人数 : 17名 (高校生13名、引率教諭2名、研修監理員2名)

⑤ TIEAプレゼンテーションコンテスト2017『国際田園都市 TAKIKAWAの20年後』

< 12月9日 (土) 於 : ホテル三浦華園 >

今年度で5回目を迎えた本事業は年々厚みを増し、本年は応募数が19チームとなったことから書類選考を行い、中学生2チーム、高校生10チームの計12チームが発表を行った。審査の結果、空き家を活用した民泊事業で外国人観光客の誘致を提案した滝川西



高校「MASATO GRAM」がグランプリ、準グランプリは滝川西高校「P I R I K A」、滝川高校「マーライオン」の2チームが受賞した。

参加人数 : 88名 (来場者23名、審査員10名、発表者55名)